

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
姫路市	松山	令和4年2月	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	38.6	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	26.0	ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	12.1	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.0	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.2	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	11.0	ha
(備考)		

## 2 対象地区の課題

<p>農家の年齢層で見ると60代以上が80%を占めており、営農人口も減少傾向にある(約80%が後継者のめどがない)。10年後は55%(31名)が耕作しない、規模縮小を考えている。30名の耕作者の方が80歳以上となり農家離れがさらに進み、現在実施している田畑の排水溝の掃除(一斉溝掃除)が生活用水のみに変化せざるを得ない状況になりかねない。</p>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>まつやま農園(株)殿、こばふぁーむ(小林一雅)殿へ、既に地元の方より遊休農地の耕作を依頼されており、今後発生する遊休農地に関しても、2社の目標面積に達するまで支援していく方針です。</p>
---

## (参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	まつやま農園株式会社	米・麦・野菜	7 ha	米・麦・野菜	17 ha	
認農	こばふぁーむ(小林一雅)	米・麦 他	3 ha	米・麦 他	4 ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
			ha		ha	
計	2 人		10 ha		21 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地の貸付け等の意向 情報の収集力のアップ(農区内の会議・集会・共同作業等の場で「遊休農地ができそうだ」という情報を得られるよう意識しておく人を増やしていく。例:自治会役員、水利の役員等)</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針 現在のところ活用していないが将来的には活用すると考える。</p>
<p>基盤整備への取組方針 資源保全向上活動の活性化で計画的に点検・修理・保全を継続する。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 既存のフェンス(金網)点検・補修等をしっかり行う。鳥獣対策サポーター派遣事業にも参加して引き続き教育・情報等関心を高める。</p>
<p>災害対策への取組方針</p>